

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 アクティブスクール河和田校

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	29%	43%	29%	・利用人数が多いと狭いと感じることがあるが、中高生を就労での作業に出かけるなどして人数の調整を行っている。
	② 職員の配置数は適切であるか	29%	57%	14%	・利用人数も多く、個別対応が必要な利用者が多いため、職員数はいるが支援が難しい場面がある。個別対応が必要な利用者をリスト化し利用人数より「対応に必要な数」を配置していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	43%	29%	29%	・玄関に段差はあるが、車いす用のスロープがある
業務改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	57%	43%	0%	・PDCAは1部行われているが、全体についてはこれからの課題。全てのサービスにおいてPDCAが反映されるよう、ミーティングの回数を増やしていく。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%	14%	0%	・アンケートを元に職員間でミーティングする機会を設けている
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	・毎年ホームページに公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	57%	29%	14%	・外部評価 業務改善を行っていることが、職員に下りてきていないことがあるので、今後は積極的に担当者情報共有をしていく。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	86%	14%	0%	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	86%	14%	0%	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	71%	29%	0%	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	57%	29%	14%	・担当職員のみで立案して、内容などをチームで検討する場面がある 今後は立案についても今後ミーティングの場などで検討していく。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	57%	29%	14%	・平日カリキュラムなどは繰返しになってしまっている項目もあるが、今後は運動の種類やダンスの曲などを変えてマンネリ化を防止していく。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	43%	57%	0%	・カリキュラム委員会で長期休みや休日など、カリキュラムのマンネリ化は対策できているが、カリキュラムに対しての個別の支援目標などが利用者数と職員数の兼ね合いで難しい日がある。 今後は①同様の対応をとり、個別の支援目標についても支援して行ける体制を整えていく。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	71%	14%	14%	・個別支援に利用者様のニーズに合わせた個別の目標と集団の目標を入れて作成出来ている。 ・集団の目標はカリキュラム、個別の目標は学習や余暇時間等で支援していけるように周知していく。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	71%	29%	0%	・グループラインでの情報共有。 ・支援時間や送迎コースの都合上、支援終了時の打ち合わせはないが翌日のMTで振り返りを行っている
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	57%	43%	0%		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	71%	0%	29%	・現状担当課者会議実施無し。必要な場合は児童発達支援管理責任者出席。 また、特に配慮が必要な利用者様についてはこちらから実施を要請する必要あり。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	43%	57%	0%	・学校で気持ちが崩れている利用者様の申し送りがいただけない場合もあるが、今後は必要に応じて学校に電話等で確認をしていく。 学校の送迎時も普段と違う様子であれば、その場で確認を徹底していく。 ・送迎時間などの情報が記載されている予定表を保護者様から頂いている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	29%	43%	29%	・医療的ケアが必要な利用者様のなし。必要な場合は連携していく。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	43%	57%	0%	・弊社施設からきている利用者様については情報共有があるが、その他の利用者様は現状連携が薄くなってしまっているため、必要な場合は児童発達支援管理責任者から働きかけを行う。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	86%	14%	0%	
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	29%	43%	29%	・各機関研修が支援時間と被ってしまっているため、受講が難しい。シフトを調整しなるべく研修に参加する機会を作り、報告書を共有を行う。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	0%	43%	57%	・直接の交流はないが、今後は積極的にお出かけ先の公園等の公共施設で挨拶や遊具の順番待ち等に関する機会を設けていく。
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	43%	43%	14%	・こども部会への参加実績があるが、定期的な参加が出来ていない。今後はこども部会の定期的な参加を行っていく。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	86%	14%	0%	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	43%	57%	・相談などを受けた場合にのみ個別で助言や提案を行っているが、今後参観日を設けて実際の支援を見ていただいたり、座談会などのペアレントトレーニングの場を定期的に設ける必要がある。
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	71%	29%	0%	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	71%	29%	0%	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	29%	29%	43%	
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・HUGで日々の記録を保護者様に公開している。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	71%	29%	0%	・書類の処分はシュレッターを使用している ・名簿などの書類をしまい忘れていたがあるので、退職時に個人情報書類は鍵付ロッカーへしまう事の徹底。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	57%	43%	0%	
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	57%	43%	0%	
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	71%	29%	0%	・現状該当利用者様なし。必要な場合は連携していく。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	